

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設	評価対象年度	平成23年度
事業者名	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設共同運営事業体 ＜構成団体＞ ・財団法人川崎市生涯学習財団 ・特定非営利活動法人有馬まちづくり サポートセンターカンアオイ	評価者	生涯学習支援課長
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日	所管課	宮前区役所生涯学習支援課

2. 事業実績

利用実績	平成23年度 利用実績（ ）内は22年度					地域図書室 H23年度 79,548冊 H22年度 71,952冊 H21年度 56,647冊 市立図書受け渡し H23年度 57,085冊 H22年度 54,470冊 H21年度 36,668冊																																																	
		業会室	和室談話室	学習室	グループ室		フリースペース・ギャラリー																																																
	利用人数(人)	22,472	3,867	17,710	3,262	5,025																																																	
	利用件数(件)	753	1075	1327	475	333																																																	
	利用率(%)	72.5%(48.4%)	45%(26.5%)	48.8%(33.8%)	32.5%(20.8%)	33%(26.3%)																																																	
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>指定管理予算額①</th> <th>指定管理決算額②</th> <th>増減額①-②</th> <th>10%以上増減の場合の説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 収入の部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 指定管理料</td> <td>47,439,000</td> <td>47,438,236</td> <td>764</td> <td>人件費調整額 169,236</td> </tr> <tr> <td>2 利用料金収入</td> <td>2,759,000</td> <td>3,965,108</td> <td>(1,206,108)</td> <td>貸室稼働率の増加のため</td> </tr> <tr> <td>3 授業料等収入</td> <td>2,486,000</td> <td>2,670,500</td> <td>(184,500)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 雑収入</td> <td>503,000</td> <td>733,915</td> <td>(230,915)</td> <td>印刷機使用増加のため</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>53,187,000</td> <td>54,807,759</td> <td>(1,620,759)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					科 目	指定管理予算額①	指定管理決算額②	増減額①-②	10%以上増減の場合の説明	I 収入の部					1 指定管理料	47,439,000	47,438,236	764	人件費調整額 169,236	2 利用料金収入	2,759,000	3,965,108	(1,206,108)	貸室稼働率の増加のため	3 授業料等収入	2,486,000	2,670,500	(184,500)		4 雑収入	503,000	733,915	(230,915)	印刷機使用増加のため	合計	53,187,000	54,807,759	(1,620,759)																
	科 目	指定管理予算額①	指定管理決算額②	増減額①-②	10%以上増減の場合の説明																																																		
I 収入の部																																																							
1 指定管理料	47,439,000	47,438,236	764	人件費調整額 169,236																																																			
2 利用料金収入	2,759,000	3,965,108	(1,206,108)	貸室稼働率の増加のため																																																			
3 授業料等収入	2,486,000	2,670,500	(184,500)																																																				
4 雑収入	503,000	733,915	(230,915)	印刷機使用増加のため																																																			
合計	53,187,000	54,807,759	(1,620,759)																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>指定管理予算額①</th> <th>指定管理決算額②</th> <th>増減額①-②</th> <th>決算の主な内訳()内は予算 単位 円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【支出の部】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>人件費 18,061,301(18,125,000)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>賃金 3,395,780(3,707,000)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>借入金 2,300,000(3,030,000)</td> </tr> <tr> <td>1 管理運営費</td> <td>53,202,000</td> <td>52,853,319</td> <td>348,681</td> <td>消耗品 3,094,971(4,537,000)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>光熱費 3,554,227(4,047,000)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>修繕費 125,482(500,000)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>租税公課 787,100(1,400,000)</td> </tr> <tr> <td>2 本部管理費</td> <td>1,911,000</td> <td>1,911,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支出合計</td> <td>55,113,000</td> <td>54,764,319</td> <td>348,681</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 収支差額:43,440 円					科 目	指定管理予算額①	指定管理決算額②	増減額①-②	決算の主な内訳()内は予算 単位 円	【支出の部】				人件費 18,061,301(18,125,000)					賃金 3,395,780(3,707,000)					借入金 2,300,000(3,030,000)	1 管理運営費	53,202,000	52,853,319	348,681	消耗品 3,094,971(4,537,000)					光熱費 3,554,227(4,047,000)					修繕費 125,482(500,000)					租税公課 787,100(1,400,000)	2 本部管理費	1,911,000	1,911,000	0		支出合計	55,113,000	54,764,319	348,681	
科 目	指定管理予算額①	指定管理決算額②	増減額①-②	決算の主な内訳()内は予算 単位 円																																																			
【支出の部】				人件費 18,061,301(18,125,000)																																																			
				賃金 3,395,780(3,707,000)																																																			
				借入金 2,300,000(3,030,000)																																																			
1 管理運営費	53,202,000	52,853,319	348,681	消耗品 3,094,971(4,537,000)																																																			
				光熱費 3,554,227(4,047,000)																																																			
				修繕費 125,482(500,000)																																																			
				租税公課 787,100(1,400,000)																																																			
2 本部管理費	1,911,000	1,911,000	0																																																				
支出合計	55,113,000	54,764,319	348,681																																																				
サービス向上の取組	地域図書室の蔵書数の増加、専用カウンターの設置などの利用環境整備。 ホームページの常時更新、多様な媒体を活用した広報対象エリアの拡大。 福祉相談窓口とIT相談窓口の新設。																																																						

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、生涯学習支援施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	3(0.6)	3
	利用者満足度	利用者満足度調査を実施し、調査結果を踏まえた満足度向上のための具体的な取組が行われているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	「生涯学習支援施設懇談会」や「市民活動支援コーナー利用者連絡会」により地域住民、利用者の参加により意見、要望等を幅広く伺いながら運営している。また、事業実施後には参加者からアンケートをとり、分析した結果をその後の事業の企画に活かしている。また、市民自主企画事業により市民の自主性や自発性を活性化させるとともに、各種の学級・講座の修了者のグループ化を促すことで施設の利用促進及び利用者増を図っている			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無きよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事故の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	施設の維持管理については、全体として建物総合管理委託により日常点検をはじめイベント終了時の特別清掃や休館日における機器設備の重点的な保守管理が適切に実施され、快適な施設環境が市民に提供されている。人員配置等については適正に行われている。危機管理については、緊急時に備える訓練及び東日本大震災を契機として防災計画の見直しを実施する等、職員の意識も高い。			

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯学習振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	生涯学習支援事業	生涯学習支援を図るための学習教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	指導者・ボランティアの育成	地域学習指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	活動団体等との連携事業	地域活動団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか。	5	3(0.6)	3
	市民活動促進業務	市民活動への参加促進に向けて活動団体の情報収集・提供を行うとともに、市民活動に関する相談体制の充実を図っているか。	5	4(0.8)	4
	市民活動支援体制	市民活動支援コーナーの適正利用に向け、利用団体間で意見調整を行い、市民活動支援を図っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	広報活動	施設利用促進及び生涯学習振興を図るための広報活動が成されているか。	5	3(0.6)	3
	<p>(評価の理由)</p> <p>施設利用については利用率の向上が見られるが、他施設と比較すると利用増が見込まれることから、利用促進に向けてなお一層の工夫が求められる。自主事業のクラシックコンサートは会場の制約がある中で宮前区に縁のあるアーティストなどを招いて開催され、地域住民が集い交流した好評を博したイベントとなった。また、新規事業アリーノフロンティアは市民活動団体の育成に効果的であった。地域の専門家による文化講座は地域力を活用し多くのサークルの自立につながり、全体として児童生徒から高齢者を対象とした幅広い事業展開により生涯学習と市民活動の支援に成果を上げることができた。</p>				
収支状況	収支計画	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	4(0.8)	4
	適切な金銭管理・会計手続き	収入と預かり金等を区別した管理を行うとともに、事業収支に関して適正な会計処理が行われているか。	5	3(0.6)	3
<p>(評価の理由)</p> <p>予算額に基づいて適正かつ、効果的・効率的に執行されている。また、利用促進計画の取組により利用料金収入が19%増加し、図書購入費の重点化により地域図書室の蔵書数を増やし、要望に応えたことは評価できる。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	63	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

開館3年目となり指定管理期間の最終年度として、事業の様々な工夫により利用率・利用者が増加したことは評価できる。また、新規事業により市民活動支援施設としての成果も上げることができた。地域図書室の環境整備や蔵書数の増加、適切な建物総合管理による快適な施設提供と万全な危機管理対策により利用者への対応が図られた。予算も効果的・効率的に執行された。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

施設運営上の課題として、有料施設部分と無料施設部分である市民活動支援コーナーを併設しているため新たな課題も顕在しているが、施設懇談会や利用者連絡会の意見、要望等を幅広く伺いながらルールづくりを進めて順次解決を図っていく必要がある。事業実施にあたっては市民のニーズが多様化しているため、よりきめ細かなアンケート調査や利用者の満足度調査を行い、それを分析・検証した上で次の事業の展開を進めていくことが、地域に根ざした市民利用施設には必要である。